

外部サプライヤー管理義務

データプライバシー

管理項目	管理説明	サプライヤーがデータ作成者として作業する場合、本件が重要である理由	サプライヤーがデータコレクターとして作業する場合、本件が重要である理由
1.許可される目的	個人データは、法律により許可される場合に、規定され、明示された合法的な目的のみのために収集され、この目的に相容れない方法で処理されることはありません。	サプライヤーは、個人データがその目的のためのみに処理されるように、Barclaysの指示に従わなければなりません。さもなければ、Barclaysは、業務を行うほとんどの国々で法を犯し、思い罰を受け、名声を損なう結果となります。	個人情報を集める場合、サプライヤーは、個人データがその目的のためのみに処理され、サプライヤーがBarclaysのために実施することに対して法令を遵守するよう努めなければなりません。
2.適切なセキュリティ	個人データが保存、処理または転送される際に、偶発的な、または故意による無許可の開示、誤用または紛失に対して保護され、必要に応じて安全に破棄されるように、適切な手段が履行されます。	サプライヤーは、Barclaysの顧客、および従業員の損害を防止するために、個人データを偶発的な、または故意による無許可の開示、誤用または紛失に対して適切に保護し、Barclaysが業務を行う国々で法を犯すことがないようにすることが必須です。	サプライヤーは、Barclaysの顧客、および従業員のデータを含む個人データについて、偶発的な、または故意による無許可の開示、誤用または紛失に対して適切に保護し、サプライヤーがBarclaysのために実施することに対して法令を遵守するよう努めなければなりません。
3.データ精度	個人データが含まれるレコードは、精度を保ち、必要に応じて更新され、特定されたエラーは訂正されません。	サプライヤーは、Barclaysの個人データの精度を保全し、Barclaysが、業務を行うほとんどの国々で法的要件に適合できるようにしなければなりません。	サプライヤーは、Barclaysの個人データの精度を保全し、サプライヤーがBarclaysのために実施することに対して法令を遵守するよう努めなければなりません。
4.データの適切性と保持	個人データは適切であり、目的に関連して過剰ではなく、必要な場合に限り保持されなければなりません。	サプライヤーは、Barclaysが業務を行うほとんどの国々で法を犯すことがないように、Barclaysのデータ収集および保持の指示に従わなければなりません。	サプライヤーは、Barclaysのために実施することに対して法令を遵守するよう、Barclaysのデータ収集および保持プロセスに従い、公開しななければなりません。
5.有効な報告	個人データの無許可の開示、誤用または紛失、もしくは、類似の侵害による潜在的な危害が、合意の通り、速やかに、あるいは、すぐに検知、報告、管理および修正	データセキュリティは、侵害を検知、報告、管理、修正するサプライヤーのタイムリーで有効なシステムに依存します。このことは、多くの場合、適用法のためにBarclaysにより要求されますが、データ事故報告には、たとえば72時間以内など、より短い期限が求められる場合があります。	データセキュリティは、侵害を検知、報告、管理、修正するサプライヤーのタイムリーで有効なシステムに依存します。このことは、多くの場合、適用法のためにBarclaysにより要求されますが、データ事故報告には、たとえば72時間以内など、より短い期限が求められる場合があります。

	されるように、有効なメカニズムが実装されます。		
6.文書化された標準	適用法に基づき、毎年更新されるプライバシーポリシーおよび手順が使用可能であり、次の要求事項に対する組織としてのコンプライアンスを証明します。すなわち、証明済みの契約実施メカニズムにリンクされること、および、すべての関連スタッフに定期的に伝達されること。	詳細な各個人の役割と責任が記述された、最新のポリシーおよび手順が、以下を判断するために必要です。すなわち、サプライヤーの実績がBarclaysの標準に適合するか、および、サプライヤーがこのようなポリシーおよび手順をスタッフとの定期的なコミュニケーションに使用するか、また、契約上守秘やプライバシー上の義務があるスタッフが、その雇用中およびその後の期間にそれらを順守するように、ポリシーおよび手順を施行しているか。	詳細な各個人の役割と責任が記述された、最新のポリシーおよび手順が、以下を判断するために必要です。すなわち、サプライヤーの実績が法令や最善の策に適合するか、および、サプライヤーがこのようなポリシーおよび手順をスタッフとの定期的なコミュニケーションに使用するか、また、契約上守秘やプライバシー上の義務があるスタッフが、その雇用中およびその後の期間にそれらを順守するように、ポリシーおよび手順を施行しているか。
7.プライバシー認識教育	適切なプライバシー教育および資料を関連するスタッフに与え、彼らにデータプライバシー要件と文書化された標準を認識させます。	定期的サプライヤースタッフ教育と教育資料の記録は、サプライヤースタッフが、個々のデータ処理業務とプライバシーに関する責任の認識を実施するために必要です。	定期的サプライヤースタッフ教育と教育資料の記録は、サプライヤースタッフが個々のデータ処理業務とプライバシーに関する責任の認識に関連する法令を遵守し、最善の策を講じるために必要です。
8.データ主体要求	個人データで識別可能な個人からのリクエストは、期限に遅れないよう迅速に通知および/または転送され、それらが適用法に適合できるようにする行動を可能にします。	彼ら自身の個人データへのアクセスのため、または、Barclaysの彼らの個人データの使用に関するその他のリクエストまたは苦情のための、データ主体リクエストの回答または転送は期限に遅れないようBarclaysの法的必要条件に適合する必要があります。	彼ら自身の個人データへのアクセスのため、または、Barclaysの顧客または従業員からのリクエストまたは苦情のための、データ主体リクエストの回答または転送は期限に遅れないようBarclaysの法的必要条件に適合する必要があります。
9.プロセスの変更	所在国の変更などの個人データのプロセスの変更は、変更を実施する前、これがBarclaysまたはデータ項目により該当する場合には、設計により個人情報保護を適用し、データプライバシーへの影響評価によりサポートされ、通知され、同意されます。	通知する前の、またBarclaysの合意の前の、データプライバシーへの影響評価によりサポートされるいずれの変更も、Barclaysがその法的必要条件に適合することを可能にすることが必須です。	通知する前の、また、Barclaysの合意の前の、データプライバシーへの影響評価によりサポートされるいずれの変更も、サプライヤーがその法的必要条件に適合することを可能にすることが必須です。

10.プロセスの外注	Barclaysの個人データのために提案された外注プロセス請負者は、事前に合意され、適切な書面による請負契約を条件とします。	外注プロセス請負者は、すべてのプライバシー要求事項に適合する能力があることを条件として、Barclaysが合意した後に選択されることが必要であり、その契約には、データ転送合意を含む、適切な条項がなければなりません。	外注プロセス請負者は、すべてのプライバシー要求事項に適合する能力があることを条件として、データ転送合意を含む、適切な条項がなければなりません。
------------	--	---	---

\*データ作成者は、Barclaysの代表として個人データを作成します。これは、Barclaysデータ作成の手引きに従って、Barclaysと合意した適切なセキュリティ対策を実施します。データ管理者（または所有者）は、個人データの取り扱い方法と処理方法を決定します。これは、契約したBarclaysの顧客または従業員の個人データに対して行われます。これは通常の手法ではありませんが、つねに企業への規制やサービスへの規制となるわけではありません。